

諫早市教育委員会会議録

平成27年第9回（8月定例）

平成27年第9回（8月定例）教育委員会

1 日 時 平成27年8月26日（水） 14時00分～15時00分

2 場 所 諫早市役所 7階 会議室7-1

3 出席者 委員長 大石 竜基
委 員 緒方 正親
委 員 秀島 はるみ
委 員 宮本 峻光
教育長 平野 博

4 会議に出席した職員

教育次長	石橋 直子
教育総務課長	川本 正博
学校教育課長	江口 武
生涯学習課長	西尾 和弘
文化振興課長	中溝 文明

5 議題

教育長の報告

報告第 9号 諫早市文化財保護審議会からの答申について

議案第 25号 諫早市英語教育推進プランの策定について

会議録署名人の指名

大石委員長と緒方委員を会議録署名人に指名

会議録の承認

- 平成27年第8回（7月定例）教育委員会の会議録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長等の報告の要旨

1 教育長の報告

○台風15号の対応について

台風15号が25日朝諫早市に最接近した。市としては前日の24日から警戒本部を設置し、対応したところである。教育委員会は文教対策班として夏休み中の学校現場には、耐震工事中の各学校の受託業者に工事現場の保全対応を指示するとともに、中学校をはじめ部活動など児童生徒に諸活動の中止を通知したところである。

市内19か所の避難所で教育委員会所管の公民館では、市民センター及び西諫早公民館が避難所に指定されているが、市民センターに23人及び西諫早公民館に18人が避難された。市全体では161世帯、251人が避難者の総数であった。

また、公民館講座では5公民館で中止または延期した。図書館では諫早、たらみ、西諫早の3図書館が25日の午前中を、また、3分室は終日臨時休館した。多良見のぞみ会館も25日を臨時休館した。

○台風被害について

各学校における被害は、高来西小学校の屋内運動場の屋根瓦が吹き飛ばされ屋内に漏水の被害が発生した。東部学校給食センターの屋根も一部剥がれた。

また、御館山小学校で運動場のメタセコイアが市道側に倒木、諫早小学校においても敷地から市道側に2本倒木があり交通規制を実施しながら迅速に除去を行なった。その他7校で学校外に影響がない倒木が発生した。

○まちづくり懇談会について

まちづくり懇談会が18日の高来地区から始まった。前半の3か所では教育委員会関係の質問はなく、24日からの後半3箇所は、台風15号接近のため無期延期となっている。

○全国中学校体育大会について

全国中学校体育大会が陸上の北海道など全国各地で開催された。九州大会を勝ち抜いた諫早市関係では、団体の諫早中学校の女子バレー部と個人11人の6競技、計24人が全国大会に参加した。長崎日本大学中学校の柔道男子の桂君が60キロ級で個人優勝、同じく西諫早中学校の山口君が50キロ級で5位、諫早中学校の剣道男子で山口君が8位入賞した。

○平和集会等について

8月9日の長崎原爆記念日には、市内42小中学校全校が当日登校日として平和集会等を開催した。私は、小野小学校の平和集会に参加した。被爆体験を語り継ぐ永遠の会から女性2人がギターを弾き、写真等も示しながら平和について歌や語りにより子どもたちに平和の大切さを伝えてもらった。

子どもたちの司会で会を進めたが、最後の黙とうの準備中の学校に設置してある防災行政無線の放送が先生の話の音を遮るような音量であったのが少し残念であった。

○全国学力学習状況調査の結果について

全国学力学習状況調査の結果が昨日発表されました。その概要について、後ほど学校教育課長の方から報告させます。

○9月定例市議会について

9月4日から9月定例市議会が開会されます。今回は教育委員会からの議案及び補正予算はありません。関係条例案件として「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号利用及び特定個人情報の提供に関する条例」が提案されますが、これには一部教育委員会が関係する部分があります。

また、追加議案として後日、平成26年度一般会計の決算及び市奨学金貸付基金の決算について上程する予定です。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

今回の台風時の防災行政無線は、風向きなどの影響もあり非常に聞き取りにくかった。台風の時は、音量調節をするなどの対応をお願いしたい。

[教育長]

風向きなども想定しながら行われているが、平和集会の際中でも間が悪いことがあったため、そのことも併せて総務課に報告したい。

議 事 の 概 要

- 1 報告第9号 諫早市文化財保護審議会からの答申について
文化振興課長説明
質問・意見なし
了承

- 2 議案第25号 諫早市英語教育推進プランの策定について
学校教育課長説明

[委員]

目指す教師像の中学校における4技能を活用した言語活動やCAN-DOリストを活用した授業について、詳しい説明をお願いしたい。

[学校教育課長]

4技能とは、「聞く」「読む」「書く」「話す」のことである。目標をきちんと設定して、子ども達は何ができるかを明確に示すことで、評価にもつながる。CAN-DOリストを各学校が作って授業を展開していく。文科省も推進している。

[委員]

年度初めに学校、学年ごとにつくることとなるのか。

[学校教育課長]

これに似たものは既に作っているが、それは学校ごとである。英語教育の推進ということで、CAN-DOリストは、学校ごと、学年ごとに作成する。中学校は週4時間の英語授業を行っている。

[委員]

英語教育推進会議は4ブロックに分けるということだが、既存の教育研究会は、ブロックに分かれているのか、市全体としてあるのか。

[学校教育課長]

教育研究会は、教科ごとに小・中それぞれ市全体で部会がある。研究会は任意団体であった。今回は、英語教育の推進に向けて、小学校、中学校も併せ持って、教育委員会も積極的に深く関わりをもっていくものである。

[委員]

英語を使つてのコミュニケーションとは、どういうことか。

[学校教育課長]

基本的には、4技能である「読む」「聞く」「話す」「書く」ことを目指すものである。

[委員]

日本人は本来のコミュニケーションが不足している。どういう意見をもって、なぜそう考えたのか、その能力を付けることが大切である。国語などの教科書では答えは一つではなく、いろんな考え方があるとされているが、英語の教科書は、英語で話すことだけがコミュニケーションとされている。日本人は、海外で英語がしゃべれない。英語でしゃべれても自分の意見が言えない。そこを変えなければならない。今求められているのはそこである。

[教育長]

英語はひとつのツールである。討論ができる能力など基礎能力をつける。英語でそういったことができるよう目標として取り組みたい。

原案どおり可決

《学校教育課長の報告》

○長崎県学力調査（英語）等について

[委員]

長与町や波佐見町や小値賀町など点数が高いようだが、生徒の数などが影響しているのか。

[学校教育課長]

小値賀町は、生徒数が少なく小中高一貫教育にも取り組んでいる。生徒数などの影響は今のところ把握していない。

《生涯学習課長の報告》

○日本青年会議所九州地区協議会 九州地区大会 2015 について

《文化振興課長の報告》

○市指定文化財「唐比のくり船」年代測定結果報告について

その他

教育総務課長

定例教育委員会の日程について説明

15時00分閉会